

県立美術館

現代芸術の巨匠
マンゾーのすべて
ジャコモ・マンゾー展
三月二十五日(日)まで
現代イタリア美術を代表する巨匠ジャコモ・マンゾーの彫刻・デッサン・版画など百二十余点を一堂に集め、美術ファンにマンゾー芸術の真髄を紹介しませう。



県立劇場

クラシックファン待望の
ロンドン・ファイル
ハイモニック
管弦楽団
指揮 クラウス・テンシュテット
四月十五日(日)午後六時開演
ベルリン・フィルの名指揮者ヘルベルト・フォン・カラヤンが絶賛するドイツの名指揮者クラウス・テンシュテットが、ロンドン・フィルを率いて来日します。
シューベルトの交響曲第八番短調「未完成」、ブルックナーの交響曲第四番変ホ長調「ロマンティック」のプログラムは、きつとクラシックファンを魅了することでしょう。



熊本県民総合運動公園に
サイクリング
ジョギングコース
が完成。
(サイクリングコース)
①使用できる日時 開園日の九時から十六時三十分まで
②使用できる人 小学四年生以上
③使用できる自転車 公園をなえつけの自転車にかぎりあります。
④使用料 二時間以内、大人百五十円、高校生以下百円、一時間増すごとに五十円加算
⑤使用手続 受付に申し出て下さい。
※路面がすべりやすい場合、入園者が多く危険な場合は、使用を制限します。
(ジョギングコース)
県民の体力づくりと健康の保持増進のためつくられたものです。
公園の美しい景色をながめ森林浴をしながらジョギングをしませんか。
※使用するときは事務所に届けて許可を受けてください。入園者が多いとき、大会等が行われて危険な場合は利用を制限します。

伝統工芸館

くらしの中の美を求めて
くらしの工芸展
五月九日(水)～二十日(金)
郷土に残る伝統工芸の再生と同時に、新たな工芸の創造、産業の振興を図るために、広く県内から公募したの中から入賞した作品を展示します。
なお、月曜日は休館日となっております。

県立総合体育館

春は躍動の季節。
各種スポーツが花盛り。
三月
二十三日(日) 剣道基本競演大会
県下の小・中学生千五百人を集め、県剣道連盟の主催で剣道基本競演大会が開かれます。
四月
一日(日) 第27回県剣道選手権大会
全国大会に先がけて行われる県選手権大会で成年男子二百人が参加します。
二十九日(土)・三十日(日) 南九州バスケットボール選手権大会
熊本、宮崎、大分、佐賀の各県から、それぞれ青年男女、高校男女各一チーム計十六チーム(約二百五十人)が参加して行われる県選手権大会です。
五月
四日(金)・五日(土) 第一回火の国旗全国高校空手道優勝大会
この競技は全国の先導的役割を果たしてきた本県が、各県の要望に応え、初めて全国的規模で、しかも高校生の心身の健全育成を旨とした実施するものです。男子七十枚女子十枚、約千人の若者が集います。
十一日(金)・十三日(日) 第35回全九州学生春季卓球大会
九州八県の大学生約千二百人が技を競います。
十九日(土)・二十日(日) 全九州学生体操競技選手権大会
恒例行事で、大学生二百五十人が参加します。

不知火海の「舟出浮」



「舟出浮」は「出浮」も言われ、今からおよそ三百年位前から「殿様の舟遊び」として始まったと伝えられています。
毎年三月中旬から始まるこの不知火海の風物詩が、今年もいよいよスタートします。
ボラ、チヌ、コノシロ、ズズキ、ハカラなどの海の幸が引き上げられ、刺身、塩焼、吸物などの即席料理を舟の上で賞味できます。
料金は、四、五人乗りの舟一艘で一萬五千円程度、約三時間～六時間の漁が楽しめます。
詳しいことは、八代駅前観光案内所へお問い合わせください。

いんにやく祭り

TEL 〇九六五―三二一―四三三六
四月七日(土) 鏡町
印鑑(いんにやく)神社例祭
その昔、石川宿弥が凶徒平定のために当地を訪れた際(旧正月)、土地の若者達が、裸で鏡が池に氷を割って飛び込み、鮒を手取りにして御前に供したとい伝えられています。
この古事にならって、現在行われている鮒採りの行事では、神酒をいただいた禪一つの若者達が、合図とともに先を争って池に飛び込み、鮒や鯉を手掴みにします。若者の中に

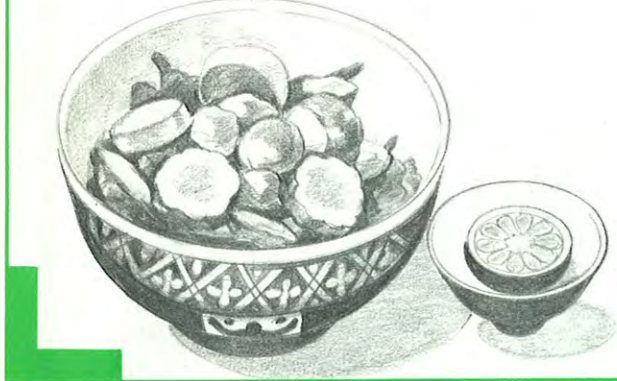
阿蘇神社火振り神事

三月十五日(木) 一の宮町
羽衣を隠して天女を妻とし、十二人の子供までもうけたニイヒコノミコト(新彦命)は、子供達への子守歌の中で、つい羽衣の隠し場所を歌ってしまいました。
羽衣を捜し出した天女は、「恋しくば訪ねてこざれや宮山に」と言い残して、夫や子供達を置いてそのまま天国に帰ってしまいました。
残された十二人の子供の一人が、後に阿蘇の大神タテイワタツノミコト(建磐龍命)の妃になられたと伝えられています。
この祭は、天女が言い残した宮山(阿蘇郡阿蘇町吉松宮の宮山)へ神職、若者各二名が姫神を迎えに阿蘇神社を出発するところから始まり、夕方の方角を合図に、これを迎える町民たちによる松明の火振り佳境に入ります。
結婚祝いに豊作祈願が加わった、このロマンチックで幻想的な祭りが終ると、阿蘇にも春が訪れます。

味 おしよせ

矢部町柚ノ木に、三百年も続いている「おしよせ祭」があります。旧暦の十月に行われるこの祭に必ず作られるものに「おしよせ」という料理があります。

成人病予防にうってつけの大豆と、季節の野菜を炒め合わせた、庶民的で、しかも栄養豊かな小鉢ものです。紹介しますので、ぜひ今夜の食卓にのせてください。
(材料) 四人前
大豆六〇グラム、カボチャ一〇〇グラム、大根四〇グラム、人参四〇グラム、蕪二〇グラム



11日	2日	1日	5月	30日	28日	27日	26日	18日	17日	15日	14日	10日	8日	5日	4日	1日	4月	31日	25日	24日	22日	21日	16日	3月											
〇風シン流行 (S52) 患者二万二〇〇人超す	〇熊本市長嶺町に熊本日赤会館、熊本赤十字病院、同血液センターが完成 (S50)	〇熊本女子大学第一回入学式 (S24)	〇交通事故防止のための「交通情報テレホンサービス」が始まる。 (S58)	〇全国で二番目に設置。交通事故の発生状況や安全管理のポイントなどの情報が得られる。 (〇九一三三三二〇〇)	〇戦後初のメーデー (S21) 県下は三組合から二〇〇〇余人参加	〇阿蘇山中岳爆発 (S28) 兵庫県加古川西側の修学旅行生らに死者五人重傷者六一人の大被害(京大山顶観測再開)	〇財団法人化血研が新研究所の起工式を行う (S58)	〇財団法人化血研が新研究所の起工式を行う (S58)	〇日航の熊本―ソウル間チャーター第一便就航 (S53)	〇全国一斉に人口調査県人口一六三万一九七六人 (S21)	〇阿蘇山中岳爆発、直径二メートルの巨石を噴き上げ第一火口が変形 (S25)	〇県下初の婦人校長五人誕生 (S22)	〇五名郡長洲町に進出の日立造船有明工場操業開始 (S48)	〇熊本空港三〇〇メートル滑走路完成 (S55)	〇日航の熊本―ソウル間チャーター第一便就航 (S53)	〇阿蘇山中岳爆発、直径二メートルの巨石を噴き上げ第一火口が変形 (S25)	〇県下初の婦人校長五人誕生 (S22)	〇初公選知事に桜井三郎氏 (S22)	〇熊本市花岡山山頂で仏舍利塔の落慶法要 (S29)	〇熊本市江津湖畔に熊本動物園開園 (S44)	〇西日本一の規模を誇る熊本博物館開館 (S53)	〇山鹿市立博物館開館 (S53)	〇人吉ループ橋開通 (S52)	〇熊本空港国際ターミナルビルオープン (S58)	〇不知火・有明・大牟田地区の新産業都市に指定される。 (S39)	〇熊本・宮崎県境の加久藤トンネル完成 (S47)	〇長さ一、八キロメートル、幅九、五メートル	〇細川知事と星子熊本市長のトップが顔を合わせる。(S58) 「県市連絡協議会」が開かれ、テクノポリス構想推進の協力態勢について話し合う。	〇「くまもと博」開幕。(S37) 六二日間に入場者約九三万人	〇「水前寺江津湖公園整備実地計画研究会」初会合。(S58) 熊本市と県が進めている水前寺・江津湖公園計画の具体策を検討する。	〇熊本城内二の丸に県立美術館オープン (S51)	〇「民事介入暴力被害者救済センター」を発足させる。(S58) 県弁護士会が暴力団がらみの民事事件から被害者を守る。	〇県民の「ふるさと顕彰」初の対象者決まる。(S51) 郷土の伝統的な工芸や民族芸能等の維持に努めている者の意欲の高揚を図り、地域社会の発展に資する目的で実施。 今年までの被選者団体は伝統工芸の計一三五件	〇熊本市手取本町の横断地下歩道完成。九州で二番目。(S44)	〇多目的ダム電川ダムが竣工 (S57)

戦後の熊本の歩み